

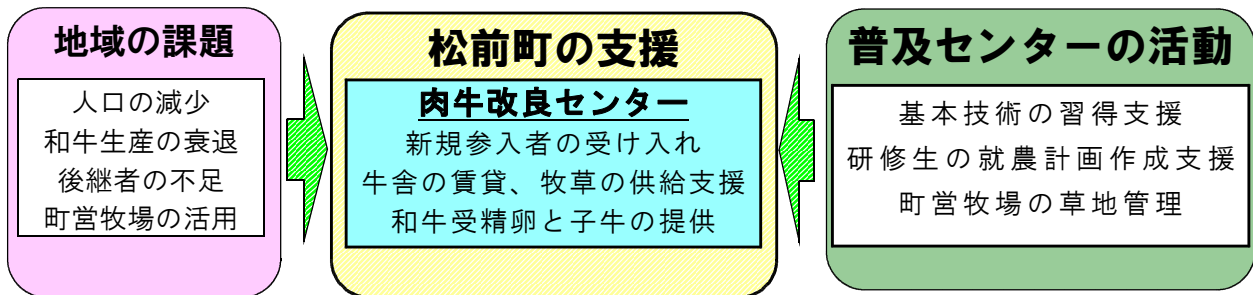
担い手の育成支援

令和5年度

～基本技術の習得～ 【松前町新規参入者及び研修生5名】（地域第3係・課題番号12）

1 課題の背景

令和元年より松前町肉牛改良センターが稼働し、減少が見込まれる農業者の確保と、黒毛和種素牛生産頭数を補うべく、新規参入者の受入れが積極的に行われている。町営牧場や施設を活用して営農開始をサポートしており、令和4年に1組、令和5年に2組が新規参入した。



2 活動内容（経過）

(1) 担い手研修会の開催

就農予定の研修生を中心に、令和3年までは、主に草地管理について研修を実施してきたが、令和4年度からは、カリキュラムに研修生の希望を取り入れながら、飼養管理技術等についても研修会を実施した。

(2) 就農計画の作成支援

就農予定の研修生に対し、担い手研修会に合わせて、町担当者及び担い手主査と連携して「就農計画」作成等を助言した。

(3) 新規参入の就農状況確認

新規参入者に対し就農計画に沿った素牛導入のため、道内家畜市場の販売成績をまとめ、情報提供を行った。

肉牛改良センターでは受精卵の採卵・移植も行っているため優良種雄牛の情報と育種価等活用による優良繁殖牛確保に向けた研修・情報提供を行った。

令和5年度 松前町担い手研修会

開催日	内容	参加人数
5/18	・牛舎環境の消毒について ・今年度の計画について	3
6/9	・牧草の収量について ・牧草地の管理について	3
8/22	・黒毛和種の繁殖経営について	1
11/27	・育種価による交配について	2
2/16	・育成牛の管理について	2



新規参入者用の牛舎

3 活動成果

- 令和5年度は10月に研修生D氏の就農認定がされ令和6年4月に就農予定である。これにより、新規参入者は4組となる。
- 令和5年度に就農した2組は、就農計画に基づく繁殖素牛の導入が順調にされている。
- 令和4年度に新規就農したA氏は、令和6年2月に初めての3頭の素牛を出荷した。
- 令和5年10月に研修生が1名は入り、令和6年4月には2名となる予定。

研修生の新規参入状況

対象	年齢	研修開始	就農認定	就農年月
A	29	R2	R3	R4.4
B	23	R3	R4	R5.4
C	31	R4.3	R5	R5.7
D	39	R4.4	R5	R6予定
E	24	R5.10	-	-
F		R6.4予定	-	-

4 今後に向けて

- 新たな研修生の技術習得と就農に向けた支援を行う。
- 新規参入者に対して営農開始後の増殖計画（状況）を確認し、安定経営に向けた支援を行う。